

## はじめに

私たちは、生活のあらゆる場面で水を利用しています。蛇口をひねれば出てくる水を無尽蔵のように思っている人も少なくないかもしれません。しかし、水は限りある資源であり、本県でも近年、地下水位の低下や湧水の減少が見られるなど、水資源をこのまま後世に引き継ぐことができるかどうか危ぶまれています。

水資源を守るためには、水源かん養を行うとともに水の使用量を減らしていかなければなりません。しかし、熊本県民の1人当たりの水道使用量は、福岡県民と比べて1日50ℓも多く、県民あけて、節水に取り組む必要があります。

このマニュアルは、日常生活における水の用途ごとに、簡単に実践できるものをはじめとした、様々な節水方法をまとめたものです。

また、水使用量（料金）を書き込む「水環境家計簿」もあります。記録して、節水の効果を確認してみましょう。

節水は水を守るために誰もがができる行動です。みんなの力で水資源を守りましょう。

なお、このマニュアルの作成にあたっては、「生活用水の節約に関する検討会議」のみなさんの御意見や、県民のみなさんにお寄せいただいた「節水アイデア」も参考にさせていただきました。たくさんのお知恵をありがとうございました。